

「Grand Line」 1 学年通信



岩手県立盛岡第三高等学校 1 学年

令和 7 年 5 月 22 日(木)発行 Vol. 6



三高マスコット「トナンくん」

🌸 鵬 63 回生のみなさん、現在、航海は 45 日目。航海日数は残り 1015 日です。昨日配付した「令和 7 年度前期中間考査範囲 (1 年次)」では、前期中間考査で考査を実施する全教科科目の出題範囲をお知らせしました。前期中間考査まで 21 日です。みなさんには、考査当日に自信を持って全力で受験してほしいと思っています。そのためにもまずは、受験に備えて十分に準備しましょう！！学年通信 Vol.6 では年間で 4 回実施される考査の大切さについて説明します。しっかり読んで、3 週間後の前期中間考査に備えましょう。

「前期中間考査に向けて」

教務課 (文責：笹渡)

1 当たり前のことですが……

考査の成績は、後々とても重要になります。あなたの人生を左右することさえあります。

(例) 教え子 S 君の場合

S 君は、1 年生の時にはなんの目標も持つことができず、自堕落な生活を送っていました。課題提出もろくにせず、授業も居眠りばかり。当然、成績もぱっとしません。そのまま 2 年生に進級した彼に、目標ができました。それは、医師になること。岩手の医師不足の現状を知り、医師として勤務して地元の人々を助けることで、自分の存在の意味を見つきたい、そんな風に考えました。目標ができた彼は変わります。授業態度も良好になり、課題もしっかりと取り組むようになりました。ただ、それまでの自堕落のツケは大きく、なかなか成績が伸びていきません。ごく一般的な家庭に育った彼は、私大の医学科に進学するほどの経済的余裕はありません。そんな彼は、ある日、I 医科大学の「地域枠推薦」というものの存在を知ります。将来岩手の医師となることを条件に、授業料の減免がはかれる制度です (当時)。心を入れ替えて努力を重ねていた彼を、学校の先生方も評価していました。推薦に値する生徒ではないか、と認めてもらったのです。しかし、彼の前に立ちはだかったのが、推薦条件となる「評定平均」という名の壁でした。1 年生の評定が低かった彼は、計算してみると、推薦可能な評定になんと「0.1」およびませんでした。

S 君は、推薦を出せませんでした。何度か浪人した後、医師の道を諦めて別な方法で岩手の役に立ちたいと努力しています。

推薦入試だけではありません。返還不要の奨学金などにも評定の条件が課されることがあります。評定は、高校におけるあなたの努力と能力を測る指標の一つとなります。「このくらいはいいか」というあなたの油断が、その後の人生を変えることが、あり得ます。

2 頑張るためにどうしたらよいか

さて、頑張りたいあなた。でも、どうしてよいか分からない、というあなた。ここからいくつかのヒントを提示します。参考にしてください。

(1) 環境を整える

Q. あなたは野球部に入り、甲子園で活躍することを夢見ています。以下のどちらのチームに所属したいですか？

A①: チームメイト全員が甲子園で優勝することを目指しているチーム。

A②: 無理なく負荷をかけずに楽しく野球をしたいと思って活動しているチーム。

どちらが良い・悪いという話をしていいるのではありません。どちらのチームも問題は無いです。あくまでも、あなたの目標に照らしてどちらがよいですか？ 言うまでもないと思います。

何事も、環境が大切だということです。教室で勉強しようとする、周りがふざけていて、真面目に勉強しようとするあなたをからかってくるとしたら、そんな環境で力がつくでしょうか。おそらく難しいです。

教室内の雰囲気高めること。学習に前向きに向かう雰囲気を作ること。それは、あなたの学力を間違いなく高めます。そして、あなたの言動は、周囲の他者に影響を与えている (良くも悪くも) という自覚を持つべきです。

部活動で、「30mダッシュ100本」というメニューが出たとします。つらいです。それ、「家で一人でやれ」と言われて何人出来ますか。無理ではないですか？ 学校で、周りにも苦しんで追い込んでいる仲間がいるから出来るのではないですか？ その中で、誰かが手を抜いていたら、萎えませんか？ あなたが頑張る姿は、他の誰かの背中を押しているのです。

(2) 学習の計画を立てる

「計画的に学習しなさい。」とは、よく言われる言葉です。私も言ったこと (言われたこと) があります。でも、どうやって立てましょうか。考えられることを挙げてみましょう。

ア 目的位置から逆算する

まずは、時間割を確認して、それぞれの科目の最終目標日を設定しましょう。そこが見えないと、「いつまでに何をやっておけば安全か」が見えません。そもそも日程が分からなければ計画の立てようがありません。

イ 優先順位をつける

①科目間と②科目内の二通りの優先順位が必要でしょう。①は、どの科目が優先順位が高いか、②は、その科目の学習をするにあたって何をやるのが優先順位が高いか、だと考えてください。優先順位の付け方は人それぞれだと思いますが、一般的なアプローチとして「アイゼンハワー・マトリクス」を紹介しておきます。

【アイゼンハワー・マトリクス（重要度・緊急度マトリクス）】

ビジネスパーソンが活用する、タスク管理の手法の一つ。物事を重要度と緊急度という2つの軸で4つの象限に振り分ける。



やらねばならないのは、 $A > C > B > D$ の順。これにより、

利点1 やるべきことの優先順位がつけられる。

利点2 緊急度が低い重要なことを明らかに出来る。

皆さんにとって、重要度と緊急度はそれぞれ異なるでしょう。

苦手で、赤点を覚悟するような科目は重要度が高いことでしょう（なんとかしないと進級ができません）。

提出期限が迫っている、テスト範囲に含まれる課題は緊急度が高いことでしょう（テストが終わってから手を付けてもテストの点数は上がらない、よねえ……）。

やるべきことを明確化すると、どの順番で何をやるかが見えてきます。

ウ 「一人で出来ること」と「学校でしか出来ないこと」を整理しておく

家で、理屈の分からない数学の問題を前にして、ウンウン唸っていませんか。その時間、無駄とは言いませんが、もったいないと思いませんか。学校で、先生や友人に質問して、考え方を理解してからの方がよいかもしれません。反対に、何かを暗記するのであれば、登下校時の電車・バス内でも出来ます。「どこで」「誰と」なにをするかも、計画を立てる上では重要です。

3 そもそもなぜそんなことをするのだと、思った方へ。二つの視点を提示して終わります。

(1) 考査のための勉強、ではない

今やっている内容は、そのまま共通テストの試験範囲です。現世利益を好む皆さん、きちんと理解をして積み上げておいた方がよいです。なお、「5教科+情報以外は大学入試に関係ない」と思う人へ。盛岡三高は、

- ①これからの時代のリーダーとなる、自主性に富んだ人間
- ②進取の意欲と高い志を持ち、社会の未来を創造する人間
- ③誠意と信頼で豊かな関係を築き合う、友愛に満ちた人間

を「育てたい生徒像」に掲げる学校です。そのために教育課程があり、行事やLHRがあり、部活動があります。大学へ行くための単なる踏み台ではありません。様々な教養を身に付け、「これ、何の役に立つんですか？」ではなく、「これは、どう役立てたらいいだろう？」を考えられる人が、「瞳輝くリーダー」になります。

(2) 考査のためだけの努力の仕方のトレーニング、でもない

環境を整えたり、計画を立てたり、優先順位をつけて整理したりする経験は、大学で研究するときも、社会に出て働くときも、絶対に生きます。アイゼンハワー・マトリクスは、部活動なんかでも使えるし、グローバルなビジネスパーソンも使っているやり方です。高校で皆さんが行う活動は、意識とやり方次第でそのまま生き方やあり方を支える力を育てるものとなり得ます。主体的かつ前向きに物事と向き合い、工夫を凝らしていくことで、皆さんの社会的な適性を育てることが出来ます。そして、様々な、思考の仕方の異なる科目の学習をすることは、皆さんの思考力の基礎力を高めてくれます。思考の基礎が出来ていれば、様々な場面で応用できます。

☆前期中間考査は6月12日(木)～17日(火)の土曜日曜を除いた4日間で行われます。

☆考査時間割は6月5日(木)[考査1週間前]に発表予定です。